

# 京都教区時報

発行 京都司教区  
責任者 村上透磨  
京都市中京区河原町  
三条上ル  
京都教区時報編集室  
TEL 075 - 211 - 3468  
FAX 075 - 211 - 4345

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

3頁 聖書講座「盲人のいやしと羊の門」 渡辺幹夫師

6～7頁 中学生広島平和巡礼感想文

点訳版「京都教区時報」〈無料〉  
ご希望の方は点訳ネット「レジ  
ナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さ  
んまでお申込みください。

TEL・FAX 0794 - 31-8601



## 諸宗教対話

人は日常生活の中で諸宗教との出会いを離れて生きることは出来ないのが日本社会の現実です。

さて戦争中、キリスト者として生きることは、まさに命を賭けることであり、キリスト者は敵国の神を奉じる売国奴とさえ思われていた中で、私たちは必死に生き抜いたのである。当時の教会の在り方を妥協と批判されますが、当時の状況を生きた信者たちには、それなりの対話だったようにも思えます。そんな歴史的な状況の中で、生命を賭けて彼らに対応したのです。

今はむしろ自由すぎる世になって無関心ともいえる妥協が、対話と、はきちがえられそうになります。対話には、相手の考えや生き方を深い尊敬をもって受け入れると共に、自分たちの信仰を正しく理解して告白していかねばなりません。ところで、教義的な面の対話に終始しては、あまり進展はないでしょう。むしろ、神の義と愛に基づいた交わりの中に対話が生まれることをバングラデシュの貧しい人々の交わりに見たのです。

(村上透磨)

(写真は20年前アシジにて開かれた「世界平和の祈りの集い」です)

10  
2006

第32回カトリック「正義と平和」全国集会・京都大会

## 基調講演への招き

弱くされた者の立場にたつて

### 基調講演

10月8日聖母女学院短期大学での午前9時半からの基調講演は、この大会全体の方向性を定めるものとして、藤野豊氏による「ファシズムと優生思想」「国家体制の中のキリスト教」という講演を用意しました。言葉はたいへん固いもので難しく受け止められるかもしれませんが、内容は、今、わたしたちが置かれている状況の中でどう生きなければならぬかという指針を見いだせるものになると確信しています。

藤野豊氏は、富山国際大学助教授（日本近現代史専攻）で、部落問題・ハンセン病問題・買売春問題や優生思想について歴史的に研究をしてこられました。この「社会を変革し得る学問の研究」をつけています。現在は、富山国際大学で教鞭をとる傍ら、ハンセン病市民学会の事務局長をされ、既報の毎日新聞（06年7月28日朝刊一面）によると、国策としてのハン

セン病隔離絶対絶滅政策の裏づけとなる公文書を発見されました。

入所者たちの証言の裏づけとなる強制「断種・墮胎記載」の結婚届もあり、これらをもって厚生労働省に要請行動に出かけられました。これに関連して、強制墮胎させられた胎児が標本にされホルマリン漬けになっているのを、30年、40年経って知った母親たちは、気も動転し「お母さんが悪かった。ごめんなさい」と胎児にわび、「私の赤ちゃんを返してください」と叫んでいます。さらに追い討ちを掛けるように、国は全国の療養所に残る胎児標本を合祀し始末しようとする動きがあり、藤野氏らはこれに対して、命の尊厳を再び犯すことをやめるようにと働きかけをおられます。

日本の国の今の状況を指して、多くの人が異口同音に第2次世界大戦の前期のようにファシズム化が静かにやってきている、と言っています。現在を識別し、キリストとともにあゆみを起こしてゆく

ために耳を傾けませんか。

①ファシズムと優生思想

優生思想は19世紀半ばにイギリスで成立し、明治維新时期に文明開化の思想として日本に流入した。以後、現在にいたるまで、日本の福祉や医療に大きな影響を与えるとともに、多くの差別を生み出してきた。特に、ファシズム期、優生思想は政策の中に多様に展開された。この点につき、国民優生法・国民体力法等を事例に考察をする。

②国家体制の中のキリスト教  
20世紀に入り、キリスト教は天皇制との共存を明確化し、さらには天皇制強化の担い手となっていく。こうした事実について、留岡幸助・賀川豊彦・あるいは岩下荘一ら、社会問題に関わった人びとを軸に考察する。

③「ハンセン病と部落問題」  
戦時下植民地のハンセン病療養所の写真パネル

④カトリック中央協議会 カリタ

スジャパンの活動・正義と平和協議会活動

⑤アイヌ民族衣装

⑥きょうと夜まわりの会による活動報告

### 販売コーナー

- ①部落問題委員会より書籍販売
- ②大阪教会管区部落問題活動センターより書籍販売
- ③汚れなきマリア会よりフィリピングッズ
- ④社会福音化推進部より書籍販売
- ⑤アイヌ文様刺繍の小物販売
- ⑥きょうと夜まわりの会・「希望の会」のおじさんたちの野菜直売

(実行委員会事務局)



聖書講座シリーズ「ヨハネ福音書を読む」

### 盲人のいやしと羊の門

渡辺幹夫師 (カルメル修道会)



9章の生まれつき目の見えない人の癒し、10章の「わたしは良い羊

飼い、羊のために命を捨てる」という箇所はヨハネ福音書全体の真ん中あたり、一番言いたいことが書かれている。

私たちにイエスの「わたしは門である。わたしを通して入る者は救われる」という姿が見えているといえるだろうか。信者であるから見えているはずだと、本当は見えていないのにそういうならその罪は重い。だから9・10章は重要なのである。

私が毎朝見ているブログ（インターネット上の日記・編集部注）に、「一期一会」というのがある。それを開いているのは、認知症の60代の人である。私がこのブログに心をひかれるのは、信仰によって認知症の中にもイエスが一緒にいてくださると分かってくる、世界が違って見えていると思うから

である。一人ひとりの人に違った接し方でイエスが良い羊飼いとして導いてくださる。その時見えてくる世界こそ本当に見えているといえる。

9章で生まれながら目の見えない青年が癒されていく。そしてイエスは青年に近寄って、「あなたはその子を見ますか」と尋ねる。「人の子」は人間だということだけではない。天のおん父の姿を私たちに啓示してください、その神の愛が世界の創造のはじめから完成の時に至るまで、いつも私たちに寄り添って、啓示してくださいる方という意味である。

弟子がイエスに、この人が生まれつき目が見えないのは本人の罪のためか、それとも両親の罪のためかと尋ねた。ここで罪とはなんだということが非常に大きな問題である。罪とは大罪とか小罪とかそんなレベルではない、もっと深い根っこの罪である。私たちがイエスによりいつも命に導かれているということを感じないことが罪

の根元である。

目が見えないのは誰の罪かと弟子が尋ねたとき、誰の罪でもない、神の業が現れてくるためだとイエスは答えた。認知症になるのはその中においてこそ出来る素晴らしい証があるということである。先日片手の剣道の選手が、延長戦まで竹刀を振り続けた姿をテレビでやっていた。その選手は、もし自分が両手揃っていたらここまでやれなかった、片手だったからこそ出来たと言っていた。そのような状況の中で、自分のためだけではなく、社会のために貢献する何かが見えてくる。そこに神の業がその人に現れる。

ヨハネ福音書が書かれたのは1世紀の終わり頃であるが、西暦70年代にローマ軍によりエルサレムが徹底的に破壊され、ユダヤ人たちはモーゼによって示された律法を守ることを話し合うためヤムニヤという町に集まった。そこで安息日をいかに正確に守るかを考え、細かいことまで決めた。それに異論を唱えると異端者となり、共同体から追い出される。そのときから会堂での祈りに「ナザレ人たちは（キリスト者たち）は瞬時に滅ぼされるように」と付け加えられた。

ヨハネ福音書はそのような社会的な状況の中で、イエスはどのような形で一緒にいてくださるのか、見つけていこうとした人たちの残してくれたものである。これが、9章にすこく影響している。目を開く奇跡をイエスはこれ見よがしに安息日にやっている。ユダヤ人たちは恐れた両親は知らない逃げた。このように優柔不断、信仰に決断しない、のらりくらりと生きる、これが本当の罪である。

当時羊飼いは、私たちが想像するような、牧歌的で穏やかな牧草の中で角笛を吹いている、そんなのではない、最低の階級の人間であった。地面にはいつくばって生きていた。夜も屋根の下ではなく、羊と一緒に寝起きする。イエスがご自分を良い羊飼いだと言ったこの話を、ファリサイ派は、分らないと言った。イエスが良い羊飼いだということが分からなかったのである。

友のために命を捨てる、これ以上大きい愛はない。これを生きたのがイエスである。私たちにおん父の子であるとの資格を与えたが、それは十字架上で命をささげ、復活された中から出てくる。私たちは教会を通して宣教し続けているイエスに招かれているのである。

## 福音センター養成コース



福音センターニュース

# 祈り II 案内

私のくびきを負い、私に学びなさい。  
そうすれば、安らぎが、えられる。

## 主とひびきあう心を養う

様々な困難や重荷が待ち受ける日々の生活の中で、

信仰を生かしてゆくために……

イエスの懷に安らぎながら、主との親しさを深め、

主から学ぶことによって、立ち上がる知恵と力を得て

ゆきましょう。

参加をお待ちしています。

- 指 導 柳田敏洋師 (イエズス会 司祭)、福音センター スタッフ  
日 時 2006年11月17日 (金) 午後4時 ~ 19日 (日) 午後3時半  
会 場 唐崎ノートルダム修道院 (〒520-0106 大津市唐崎1-3-1)  
JR 湖西線 (京都駅から15分) 唐崎<sup>からさき</sup>下車徒歩10分  
申込締切 10月25日 (水) 迄に

### 問い合わせ・申込先

郵便番号・住所・氏名・参加コース名をご記入のうえ、参加費 20,000 円を  
郵便振替口座 (00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース) へお振込み  
下さい。

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 京都カトリック福音センター  
Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail [fukuin@kyoto.catholic.jp](mailto:fukuin@kyoto.catholic.jp)

福音センター養成講座

# — 滞日外国人とともに —

どのように迎えるの？ 何をしたらいいの？ 友達になりたいけれど…。

国際化の時代、教会における日本人と外国人とのががわりを学ぶための

コースです。特に異文化の豊かさの違いを学びます。

皆様の参加をお待ちしています。



日 時 2006年11月11日(土) 午後2時～

11月12日(日) 午後3時

会 場 唐崎メリノール・ハウス (JR湖西線 唐崎駅下車 徒歩10分)

主 催 京都カトリック福音センター 企画・協力 京都教区国際協力委員会

## 問い合わせ・申込先

郵便番号・住所・氏名・ご記入の上「滞日外国人とともに」と明記し、参加費6,000円を郵便振替口座(00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース)へお振込み下さい。

★ 申込締切は 11月1日(水)です。

〒604-8006 京都市中京区河原町通三条上ル 京都カトリック福音センター

Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail [fukuin@kyoto.catholic.jp](mailto:fukuin@kyoto.catholic.jp)

## 中学生広島平和巡礼

## 「もし今ここに原爆が落ちてきたら」

## 1年 森 美由樹

8月5日から8月7日まで広島に行き平和巡礼をしました。

1日目は幟町教会で被爆証言が行われました。被爆者の森さんは平和の為に色々な活動をされています。話を聞いていると、戦争というものは、この世に存在するものではないと改めて分かりました。その後、観音町教会に行きました。夕方になると、平和公園に行き、幟町教会まで平和行進をしました。そして平和祈願ミサにあずかりました。私はこの世界が平和になるように祈りました。私はとてもおどろいたことは、全国各地の教区の方々や日本聖公会の方々がこのミサにいられたことです。私はみんなと一緒に祈ることで平和に近づけるのではないかと考えました。

2日目は8時15分に相生橋で黙とうしました。私は61年前ここに原爆という恐ろしいものが落ちたと考えると頭の中が真っ白になる

くらい怖くて残こくです。次は平和資料館を見学しました。私は「自分が被爆者だったら」と考えて見学しました。見学すると残こくで、こんなことがもう2度と起こらないでほしいと思いました。

夕方、元安川で、灯籠流しが行われました。とてもきれいで流れている灯籠を見て、戦争は1日でも早くなくなつてほしいと思いました。3日目にはこの巡礼の反省などをしました。

私は、この巡礼を通して、こんな残こくな戦争はもうしてはいけなと思います。いくら話し合いで解決できなくても、武力では解決してはいけません。特に核兵器を使うことはいけません。ですから日常生活でもすぐ暴力を使わず、話し合ってください。けんかかなどを解決しないといけないということが改めて感じられました。

## 2年 光吉 歩

僕は、8月5、6、7日の京都教区広島平和巡礼に唐崎教会から

行かせてもらいました。この合宿で学んだことはとても多く、良い経験させてもらいました。

この合宿のメインは僕なりに、とうろう流しであった。とうろう流しは原爆の被爆者の魂を静めなぐさめるものであった。そのとうろう流しが流れていた川に61年前は被爆者が倒れていたと思うと61年しか経っていないのにものすごいかわりようだと思いました。

61年前に原爆を落としていったアメリカと今では親密な関係になつているのはひにくなものだと思いましたが、今の日本はアメリカがいなければどうなるのか僕にはわかりませんでした。

8月6日の追とう式の前に、人達が内閣総理大臣のひはんをして見たのを見て、これから被爆者をなぐさめるための追とう式があるのに現実はこのようにけなしあひみないなことがあったので、ちょっと追とう式のイメージもかわってしまった。このような日だけでもこのような事をしない方がいいと思つた。1日目の被爆者の話でわかったのは、その原爆がどれだけ人にたいへんな思いをさせるのかわかり、それは原爆のひ害を受けた日本人のただけではなく

原爆を投下したアメリカの人達にもあったことでした。原爆資料館には被爆者が描いた絵や被爆者の服などがあつた。資料館で印象的であつたのは、被爆者が一生懸命折つていたつるでした。この折られたつるにはその人のいろいろな思いがまつているんだなと思いました。

戦争は人々の思いがくいちがうことから始まると思います。人々が人の事を思いやれることができるようになることができれば、そうなることを願っています。

## 3年 橋本 仁子

今回私が広島に行ったのは2回目です。今年は広島に原爆が落ちた8月6日広島に居ることができて、良かったと思います。2日目の朝、8時15分にもくとうした時、「もし今ここに原爆が落ちて来たら」と考えました。もしたら、なぜか、ものすごく恐ろしくなりました。だってもし今ここに原爆が落ちて、家族も友達も街も、そして自分もめちゃくちゃになつて、目の前が真っ暗になつたから。そして知ってる人があとかたもなく消えてしまふか、誰かも分からない様な姿になつていたら。そして自

分も死んでしまいか、大変なことになって自分だけが生き残ってしまったら……こんなことは、今の世の中からは想像もつかないことだけど、平和記念館へ行ったら、色々なものが展示してあって、本当にあったことだっということが実感できました。こんなことは去年、私は感じませんでした。やっぱりどこかで広島に原爆が落ちたということが信じられなかったんだと思います。

でもそれから1年たってもう1度平和記念館へ行ったり、平和行進をしたり、広島で3日間を過ごすことで、さらにたくさんの方のことを学ぶことができました。もう1つ私が気付いたことは私たち日本人だけが苦しい思いをしたのではないということ。これは被爆証言を聞いていたときに思ったことです。やっぱり原爆を落とされた、というアメリカに対しての怒りばかりが大きくなってしまっているのではないのでしょうか。日本人だってアメリカの人々を殺しているのです。だから、これはリーダー達も言っていたのですが、おたがいを許しあうことで、戦争を終わらせることもできたかもしれないし、これからだってそうだと思います。

### リーダー 奥埜 豪

リーダーとして、19歳の年齢で参加した今年の平和巡礼は、自分としては実りのあるものになったと思う。

私も実は中学生時代、1年、2年、3年とこの行事を当たり前のように参加をしていた（もちろん自主的ではあるが）。そして学年を重ねるごとに、その考えも徐々に変わっていった。原爆の恐ろしさ、平和の大切さ、命の価値、などなど、実に多くの考えを私にもたらしてくれた。そしてそれから4年後、私はこの戦後61年目をむかえるヒロシマを見て、自分はどうのようないい手にするのかを知りたくて、リーダーとして参加しう考えを与えてくれた。いや、考

えというよりかは疑問を与えてくれたのだ。それは「何故に人は争うのか？」という内容だった。

2日目の碑めぐり、資料館見学、灯籠流しなどを見ている中学生やリーダーに、私はいろいろ聞いてみた。みんなそれぞれ多種多様な考えを持っていて、私自身も勉強させられるものがあつた。そしてわかったことは、意見は違っても、みんなが持っている「モト」は同じであるということがわかった。でも個性様々だから、その「モト」から発達するものが枝分かれしてしまうがゆえに結果的に違う考えになってしまふのだから。本当はわかり合おうと思えばできるはずなのに、何故なんだろうか……？

今回私を持ったこの「何ゆえに人は争うのか？」という疑問は自分の中の「平和」についてのライフワークとして、一生消えないものになっていくだろう。多分答えなんて出ないはずだ。でも自分なりの答えはいくらでも持てるだろう。だからもし来年も行かせてもらえるのであれば、今度はそれを探してみたい。



## ジャクソン神父



所属メリノール宣教会  
生年 1929  
叙階 1958

た。まだTVが普及していなかった時代。伝道師と幻灯機を単車の後ろに載せてでこぼこの田舎道がたがた走っていた。

48年前日本に上陸した時かなり視聴覚教育に関心を持っていた。長浜教会に赴任してから教区本部の片隅にあったカルロピチス神父の事務所から聖書についてのスライド(マンガ)を借りて滋賀県東北の村々を廻って子供たちに見せ

た。伊勢教会では聖書についての名画のスライドを見せて、キリストの生涯を教えた。津教会に赴任したころビデオができたので子供たちに劇を演じさせて撮影した。クリアのスライドに細かいマジックで聖書の場面を画かせることもあった。今はDVDなどがあり、またインターネットから沢山の資料が取れるから黄金時代である。

## こんにちは神父さん

## 村上眞理雄神父



所属京都南部西ブロック  
生年 1929  
叙階 1955

でしよう。

昨年、みんなで司祭叙階50周年をお祝いしていただいて、感謝しています。これはひとえに、皆さまの大きなお恵みとみなさんの支えがあったことと思ひ、感謝にたえません。

このことを忘れず、与えられた日々を、神の栄光と、多くの方々に仕えて生きたいと願っております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

病院通いをしながらなんとか生きています。この間は小野神父様  
が先に逝ってしまっさびしい限りです。彼とは仲よくしてもらいましたから。でもこの年になって、仕事を与えられていることは、ありがたいと思わなければならぬ

## 済州教区の紹介8

交流部 兼元邦浩

済州道の聖地

■観徳亭(前回の続き)

腐敗した官吏と頑固な儒者たち、或いは巫女の因習に染まった地方民とカトリック信者との衝突が、ついには迫害という様相に変わり、地域によっては大規模な民難として現れた。

その中の一つが1901年に発生した済州道の辛丑教難である。地方官吏と既得権を主張する豪族勢力、それに日本人、密漁業者らの結託によって誘導された。

この事件は、中央政府の租税政策、即ち朝廷より派遣された奉税官が、あらゆる雑税を払わされることに不満を抱いた庶民らを扇動して、収奪政策の是正を要求する民難から出発した。

しかし、事件が進む過程で道政責任者と奉税官は逃亡し、乱民たちは攻撃対象をカトリック教に向けた。これには一部の信徒が奉税官と結託し不正を行った事も原因の一つにあったであろう。しかし、フランスの神父を打倒しようとする

る日本人の陰謀、因習に染まった豪族勢力、そして存在意義を問われた巫女らの作用が決定的な原因であったに違いない。こうして済州市に侵入した民軍たちは、信徒を含めた良民など700余名を殺害するに至った。この由緒ある観徳亭の前の広場が刑場が変わったのである。

事件が収拾する過程で当時フランス艦隊長が撮影した写真には、信徒たちを殺す時に使用した道具(鞭など)が遺体のそばに置いてあり当時の惨状を物語っている。この犠牲性になった信徒たちの遺体は、その後、別刀峰の麓に仮埋葬されたが、現在は黄蛇坪に安置されている。



お知らせ

◆カトリック「正義と平和」全国集会・京都大会 10月7日(土)～9日(月・祝) 場所 アピカルイン京都 聖母女学院短期大学 問合せ 京都大会実行委員会 FAX 075(2233)2291

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読14日(土)10時 奥村一郎師 河原町会館6階 費用2500円(昼食代を含む)持参品 聖書・筆記用具・ノート(お申し込みは3日前までに) ▼聖書講座シリーズ「ヨハネ福音書を読む」―復活の主に出会う― 4・5日昌川信雄師、11・12日英隆一朗師、18・19日阿部仲麻呂師、25・26日鈴木信一師

地区協議会から

◆カトリック奈良地区協議会▼奈良地区聖書講座―今、預言者に聞く―13・14日一場修師、27・28日並木豊勝師(場所 奈良教会) ◆三重地区協議会▼三重地区聖書講座14日(土)14時 場所 松阪教会 講師 晴佐久昌英師(東京・高円寺教会主任司祭) テーマ

「福音宣教」

ブロック・小教区から

◆河原町教会▼教会の祈りと聖体賛美式・主日のミサ 第1日曜日17時半▼ ◆京都南部東ブロック▼ウオーカソン11月3日(祝)10時 河原町教会から鴨川沿い往復 ◆京都コリアンカトリックセンター▼韓国カトリック教会聖地を巡る旅(第1回済州教区訪問)19日(木)～22日(日) 訪問先 済州教区、ソウル教区

修道会から

◆カルメル宣教修道女会▼召命黙想会「水を飲ませてください」7日(土)～8日(日) 場所 宇治カルメル黙想の家 指導 松田浩一師(カルメル会司祭)、カルメル宣教修道女会シスター 費用五百円 申し込みFAXあるいはハガキで電話0774(32)7016 FAX0774(32)7457 ◆京都女子カルメル会▼講演とミサ「アピラの聖テレサ」8日(日)講演13時半 ミサ15時 中川博道師(カルメル会)▼講演とミサ「三位一体のエリザベット」11

月5日(日)講演13時半 ミサ15時 北村善朗師

◆聖ドミニコ女子修道院▼「みことばを聞こう!」―神のことば(主日の福音)を黙想する―28日(土)9時半 講師 北村善朗師 対象青年男女 会費500円▼「ロザリオを共に祈る会」20日(金)10時半 どなたでも当日お出でください。問合せ075(231)2017

諸施設・諸活動から

◆JOC▼働いている青年の集い。集会場所 京都働く人の家(九条教会前) 連絡先090(8207)1831 ◆カトリック聴覚障害者の会京都グループ▼手話学習会12日(木)13時 河原町会館6階 ◆京都カナの会▼例会、カナの会パーティ1日(日)13時半 河原町会館6階 ◆京都カトリック混声合唱団▼練習日8日(日)・29日(日)14時、28日(土)19時 河原町会館6階 ◆京都キリシタン研究会▼都の聖ラザロ顕彰ミサ1日(日)10時 河原町教会▼定例会22日(日)14時 河原町会館6階 ◆コロ・チェレステ▼練習日毎

月第2、第4、第5木曜日10時 河原町会館6階

◆子羊会創立50周年記念式典▼感謝のミサ1日(日)13時 大塚喜直司教司式場所 高野教会▼ミサ後、記念式典に引き続き「お祝いの会」 ◆在世フランシスコ会京都兄弟会▼集会14日(土)13時半 フランシスコの家 ◆聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会▼河原町協議会15日(日)河原町教会▼中央理事会22日(日)河原町教会 ◆二金会▼13日(金)西陣教会 ◆糠みその会▼26日(木)19時半 九条教会ホール ◆心のもしび 10月番組案内 ▼テレビ(衛星)CSスカイA ハヤット神父によるカトリックの教え\*土曜日朝8時45分より。 \*7日と14日「人祖と原罪」。(ただし14日は7時45分より)。21日と28日「旧約時代」 ▼ラジオ KBS京都ラジオ \*10月のテーマ「反省」 月々土 朝5時15分より5分間。 問合せ075(211)9341 ◆「一万匹の蟻」運動基金報告 累計 47,953,826円 (8月11日現在)

## 大塚司教の

10月のスケジュール

- 1日(日) こひつじ会創設50周年  
ミサ(高野) 13時
- 2日(月) 那須トラピスチン訪問
- 3日(火) 東京カトリック神学院  
那須ガリラヤの家訪問
- 4日(水) 中央協出版審議会  
神学校合同準備会
- 5日(木) 中央協常任司教委員会  
義と平和協議会全国集会・京都大会(アピカ  
ルイン京都・聖母女学  
院短期大学)
- 7日(土) 義と平和協議会全国集  
会・京都大会(アピカ  
ルイン京都・聖母女学  
院短期大学)
- 9日(月・祝) 12日(木) 教  
皇庁駐日大使ポッター  
リ・デ・カステッロ大  
司教京都教区訪問
- 14日(土) 聖母の小さな学校スポー  
ツフェスタ9時
- 15日(日) 京都南部・西ブロック  
司教訪問(亀岡)
- 17日(火) 24日(火) 教区司祭  
年の黙想(当別トラピ  
スト修道院)
- 26日(木) 田辺聖愛幼稚園50周年  
10時
- 29日(日) 長浜教会創立50周年ミ  
サ14時

## ◆閉院のお知らせ

▼スヴェール愛徳修道会藤ノ森  
修道院が8月31日閉院となりまし  
た。

よく分かる聖書の学び  
〜聖書入門講座〜

聖書の学び(お話) 1時間30分

質問コーナー 30分

テキスト「聖書にみるイエスの姿」

(A・コレイン)

対象 聖書を学びたい人はどなた  
でも

夜の部(火曜日) 19時〜21時

(今年) 9/26、10/10、11/7、  
12/12

(来年) 1/9、2/13、3/13

講師 奥村豊師

昼の部(水曜日) 10時〜12時

(今年) 9/27、10/11、11/22、  
12/13

(来年) 1/24、2/21、3/14

講師 北村善朗師

会場 河原町会館701号室

費用 300円(1回) 当日会場  
で申し込んで下さい。

問合せ 聖書委員会

電話 075(211) 3484

FAX 075(211) 3910

## 中学生会リーダーの青年たち

有地実希

京都教区中学生会のリーダーの青年の話をさせていただきま  
す。

京都教区の中学生会では、  
春・夏・冬の年3回、合宿を行  
います。その合宿の世話役を担  
当司祭のご指導のもと務めてい  
るのが、青年の「リーダー」で  
す。大学生、専門学校生、社会  
人など、肩書きは様々で、とて  
も個性豊かな顔ぶれですが、み  
んな人の為に何かをしたい・自  
分自身も中学生と共に成長して  
いきたいという気持ちは何かし  
ら共通して持っている。そんな  
青年の集まりです。

分自身を知り、仲間の大切さを  
実感し、成長していく為には、  
どんな事をしたらいんだらう  
。合宿を企画する時は、そんな  
事を常に考え、話し合ってい  
ます。

リーダーは合宿当日以外にも  
集まって準備や話し合いをして  
います。それをリーダーミー  
ティングといい、月に2〜3回  
ほど開いています。教区の中学  
生会の合宿は、このリーダー  
ミーティングが要であると言っ  
ても過言ではないと思います。

合宿当日もリーダーはひと  
つひとつの事に全力投球です。  
ガッツがないと務まらない事が  
多々あります。そんな時も回り  
のリーダーがフォローに入っ  
たり指摘をしてくれたり励まし  
たり：助けあって合宿を運営して  
います。リーダー同士が互いを  
信頼して動けば、中学生一人ひ  
とりにちゃんと接する事ができ  
ます。信頼する事の大切さを、  
私はリーダーを務める事によっ  
て学ばせていただきました。

このミーティングの中で、合宿  
でどのような事を行うのかを話  
し合います。時にはリーダー同  
士でわかちあいのワークを行っ  
たりもします。今年の広島巡礼  
のミーティングでもそういった  
内面の話を何度もしました。中  
学生が、神様について学び、自

青年センターホームページ  
<http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>  
※携帯電話からもご覧になれま  
す。

## 青年センターあんでな

青年センターあんでな

青年センターあんでな